

人文科学研究所研究叢書

49.『現代中国文化の光芒』

2010年3月20日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格4,300円（税別）

ISBN 978-4-8057-5336-1

まえがき	
ゲルブの文字学と漢字 —言語にとっての理想の文字とは何か—	讃井 唯允
台湾海陸客家語のアスペクト体系	遠藤 雅裕
中華人民共和国における漢語方言と言語政策 —方言番組とその規制をめぐって—	小田 格
初期鄭敏論 —詩と哲学は隣り合わせ—	渡辺 新一
梅娘 (Mei niang) 試論 —小説「蟹」を中心に—	栗山 千香子
向山黄村と蘇軾 —「景蘇集」を中心に—	池澤 滋子
中国文人の「風流」 —その思想的背景について—	彭 浩
一九八〇年代の俗信批判書をめぐって	材木谷 敦
魯迅と京劇	波多野 眞矢
頼声川の「相声劇」について —究極の「語る」演劇—	飯塚 容
太平洋戦争期の上海における音楽界の記録 —上海交響楽団の演奏活動について—	榎本 泰子
呂楠論 —中国ドキュメンタリー・フォトにおけるチベットモチーフの位相—	山本 明